

乾式コンクリートカッター
RC-50 型

取扱説明書

この度は弊社乾式コンクリートカッターRC-50型をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

はじめに

- ・ この取扱説明書は乾式コンクリートカッターRC-50の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前に安全で最良の状態でご使用いただくために、必ず熟読し正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。
- ・ お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- ・ 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- ・ 下記マークは安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

 **危険**

取扱いを誤った時、使用者等に死亡または重傷を負う危険が極めて大きいことを示す。

 **警告**

取扱いを誤った時、使用者等に死亡または重傷を負う危険が想定されることを示す。

 **注意**

取扱いを誤った時、使用者等が軽傷を負う可能性が想定される場合または物的損害のみ発生が想定されることを示す。

安全に作業をするために



警告

安全に作業をしていただくために、次の注意事項を守ってください。

- 作業に適した服装を身につけ、ヘルメット、安全靴を必ず着用してください。
- 燃料補給時には、必ずエンジンを停止させ、タバコの火等、火気を近づけないようにしてください。
- トンネル内での作業時には、換気に十分気を付けましょう。
- 夜間作業時には、機械の作業灯をつけ、必要に応じて照明施設を設けるなどして、十分明るくして作業をしましょう。
- 作業前には、必ず始業点検を行い、不具合・故障箇所のある場合は、整備完了してから使用しましょう。
- エンジン運転中は、絶対に回転部に手などを近づけないようにしましょう。
- 機械から離れる場合は、いたずらなどで機械が動き出したりしないように、キーを抜きとるなど十分に注意しましょう。
- 傾斜地に駐車するときは、必ず車止めをしましょう。
- バッテリーの電解液は強い酸性で、人体に有害ですので皮膚などに付着しないようにしましょう。
- 電気配線のたるみや断線は、ショートによる火災の危険がありますので、十分注意しましょう。
- 道路上での作業は、歩行者などの安全確保のため立ち入り禁止の表示をし、必要に応じて誘導者を配置し、通行車両の整理をしましょう。
- エンジンおよびダイヤモンドブレードについては、各々の取扱い説明書をよく読んで、正しくお使い下さい。
- 室内では使用しないでください。

『主 要 諸 元』

1) 名 称	乾式コンクリートカッター
2) 型 式	RC-50
3) 最大切断深さ	50 mm
4) 使用ブレード	12” ・ 14”
5) メインベルト	3V-400 x 2本
6) 切込深度調整	手回しハンドル式
7) 走行方式	前後進無段変速
8) 集塵方式	機械式ブロア方式
9) 集塵タンク容量	7.0 ℓ
10) 搭載エンジン	
a) 名 称	メイキエンジン
b) 型 式	GB300PE ㇿ付
c) 排気量	296 cc
d) 最大出力	7.3 kw (10.0 PS) / 4,000 rpm
e) 使用燃料	普通ガソリン
f) オイル	SAE10W30
g) 燃料タンク	6.0 ℓ
11) 本体寸法及び重量	
a) 全 長	1,130 mm
b) 全 幅	680 mm
c) 全 高	1,149 mm
d) 概算重量	250 kg

《ご使用になる前の点検》

機械をご使用になる前に必ず始業点検を行うようにしてください。



警告

- ・点検、整備を行う場合は必ず平坦な場所に機械を置き、エンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料の補給、各部への注油はエンジンが冷えてから行い、くわエタバコなどは絶対にしないで下さい。また、給油後はキャップをしっかり閉め、こぼれた燃料などはきれいに拭き取ってください。

1) 機械各部分の緩みを点検して下さい。

ボルト、ナット、チェーン、ベルトなどの点検をし緩みがある場合は、増し締めなど必要な整備を行ってください。

2) ピローブロックのガタがないか点検して下さい。

ブレード取付軸のピローブロックにガタがありますと、ブレードのたたき現象を引き起こしチップとびの原因となりますので、ガタがある場合は交換してからご使用下さい。

3) 潤滑油、作動油、エンジンオイル等の点検をして下さい。



注意

オイルレベルの確認、オイルの汚れなど適切な整備が行われているか確認してください。オイルの管理の良否によって機械の寿命や整備費、能率などに大きな差が出る場合があります。

a) エンジンオイル

注油口より給油し、オイルゲージをいっぱい押し込み、ゲージの上下のキザミの間までオイルを入れてください。もし、足りない場合は補給して下さい。

b) 油圧ミッション

油圧ミッション上部のタンクの油量を確認して下さい。もし、少ないときは補給して下さい。

c) クラッチ及びチェーン、ピローブロック

クラッチ、チェーン、ピローブロックを点検し、適時グリースを給油して下さい。

d) バッテリー

バッテリー液を点検し、電解液が規定液面より下の場合は、補充液を補給して下さい。

《運 転》



警告

- 1) 始動前に始業点検を毎日必ず行って、不具合なところがないことを確認して下さい。
- 2) クラッチレバーを「駐車」にし、走行レバーを「中立」にしてください。
- 3) スタータスイッチにキーを差込み、一段右に回すと運転になり、さらに回すとセルモーターが回りエンジンが始動します。気温が低い時、エンジンが冷えている場合は。チョークノブを手前に引き始動して下さい。なお、スロットルレバーは少し下げてください。



注意

- 4) エンジンが始動したら、キーより手を放しますとキーは自動的に運転に戻ります。
注) スタータスイッチは30秒以上連続して操作しないで下さい。バッテリーの消耗が大きいのと同時にセルモーターが焼損する恐れがあります。
注) 1回で始動しない場合は、10秒程度間をおいてから同じ操作を行ってください。
- 5) エンジンが始動したら、スロットルレバーを操作し、所定の回転数にあわせてください。
- 6) エンジンを停止する際は必ず規定アイドル回転にスロットルを戻してから、スタータスイッチを停止位置に戻してください。

給油箇所	油量(l)	規格	交換目安時間(H)	
			初回	通常
エンジン	1.0	SF クラスエンジンオイル 10W-30	20	200
油圧ミッション	0.65	油圧作動油 ISO VG 46cSt	—	200
ピロブロック	適量	グリース No.2	適時	200
クラッチ及びチェーン	適量	グリース No.2	適時	200

《保守整備について》

- ・エンジンの保守整備については、エンジン取扱説明書をご覧ください。
- ・各部給油脂個所に給油してください。
- ・V ベルトの張りを点検してください。張り加減は親指でベルト中央部を押して 10～15 mmたわむ程度に調整してください。
- ・機械各部のボルト・ナットを定期的に増締めしてください。
- ・集塵フィルターは集塵力を維持するため、出来るだけ早めに交換してください。

株式会社ノリタケマシンテクノ

本社 〒202-0014

東京都西東京市富士町2丁目13番17号

TEL0424-61-5171(大代表) FAX0424-61-6310

東京支店 福岡支店 大阪支店 名古屋営業所

長野営業所 仙台営業所 広島営業所 札幌営業所

新潟営業所 新座工場